

地域におけるスポーツ施設の確保方策について

1. スポーツ施設の確保方策

【課題】

- ・ 地域のスポーツ団体の施設や公共のスポーツ施設だけでは、地域の中学生がスポーツ活動をするのには足りない地域もある。

【対応策】

- 地域のスポーツ団体の施設や公共のスポーツ施設だけではなく、中学校の体育館やグラウンド、武道場等の体育施設をはじめ、小学校や高等学校、特別支援学校、廃校となった学校の体育施設などの活用が考えられるのではないか。

2. 円滑な学校体育施設の利用の促進

【課題】

- ・ これまでよりも多くのスポーツ団体等が中学校をはじめとする学校体育施設を利用することになるため、利用ルールの改善や団体間での調整が必要となる。
- ・ 各地方自治体が定める学校施設利用の規則において、営利を目的とした利用は認められないこととなっている場合、民間事業者が行う営利を目的としたスポーツ教室等に対して学校体育施設の利用が一律に認められないことになってしまう。

【対応策】

- 多様なスポーツ団体等が、学校体育施設を円滑に利用できるよう、行政や各団体等により連絡・調整する会議体を設立するなどの仕組みを整備する必要があるのではないか。
- 学校体育施設の利用に際して、営利を目的とした利用を一律に認めない規則や運用としている地方自治体においては、中学生をはじめとする地域住民を対象とするスポーツ活動に対しては、営利を目的としていても学校体

育施設の利用を可能とすることが必要ではないか。

3. 学校体育施設の利用・管理の在り方

【課題】

- ・ 学校体育施設が地域のスポーツ活動の拠点として利用されることを促進していく必要があるが、小学校に比べて中学校における地域への開放は少ない状況となっている。

(参考) 施設種別・学校段階別開放率 (平成 29 年度)

	小学校	中学校
屋外運動場	89.8%	75.6%
体育館	97.8%	94.4%

「体育・スポーツ施設現況調査 (スポーツ庁)」

- ・ これまでよりも多くの地域のスポーツ団体等が学校体育施設を利用することとなるため、施設の管理を学校が行うこととなると、学校の負担が増大するおそれがある。

【対応策】

- 学校体育施設については、学校教育だけでなく、地域のスポーツ活動の拠点としての利用を促進していく必要があるのではないか。
学校の正規の教育課程である授業や学校行事で使わない放課後や休日の時間帯は、地域住民のための運動・スポーツ施設としての利用を促進することが適当ではないか。
- 放課後や休日の時間帯の学校体育施設の管理は、学校の負担を増大させないため、指定管理者制度を活用するなどして、中学生をはじめとする地域住民のためのスポーツ活動を実施するスポーツ団体等に委託していくことなどが考えられるのではないか。このような取組により、当該スポーツ団体等の安定的・継続的な運営も促進できるのではないか。

(参考)

1. 地方自治体における事例（奈良県生駒市）

生駒市の考え方

【地域の状況】 ※多くの自治体の課題や原因と効果的と考えられる対策等

- ・老朽化等による公共施設の維持管理経費の増加 … 施設の統廃合
- ・学校体育施設開放事業のあり方 … 既存団体と新規参入団体の利用調整
- ・指定管理者の新たな役割 … 施設管理だけでなくソフト面（自主事業）の更なる充実

【地域スポーツへの支援方策】 ※公益的な地域スポーツ団体の活動場所の確保

- ・施設の統廃合による利用時間帯の減少 … 近隣自治体との施設の相互利用
- ・総合型地域SCなど新規参入団体の利用施設の確保 … 廃止施設などの活用
- ・学校体育施設利用の見直し … 共益的（単一種目）と公益的（総合型）の団体区別
- ・学校部活動の地域移行受託団体 … 地域部活動受託団体の学校施設の空き時間帯の活用
- ・指定管理者による地域スポーツ推進 … 総合型地域SCや民間事業者との協働や連携
- ・コミュニティスクールとの連携 … 学校施設の利用拡大、地域での信頼度向上
- ・特別な設備が必要となる競技の施設環境の整備 … 大学や民間施設活用（公共施設以外）

2. 総合型地域スポーツクラブにおける事例（NPO法人希楽々）

（地域の状況）

運営主体が指定管理者となっている公共施設（総合体育館）や委託事業である学校開放施設を活用し、融合型部活動を行っている。

因みに平日放課後活動については、クラブ所有のバスで学校から体育館へ移動する。

既に廃部となり、活用していない屋外学校施設は融合型部活動で使用している。

また土曜日を地域移行したとこで、学校部活動で使用していた施設を融合型部活動で活用している。

（地域スポーツへの支援方策）

連携する組織（スポーツ少年団）などと連携を図ること、例えば合同活動のような形で活動場所を確保することが可能となる。

最初は活動場所の占有が難しいのであれば、連携団体と活動内容を再考し、確保することから始めてみる。

【融合型部活動の活動例】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
日中	学校部活動	学校部活動		学校部活動	学校部活動	融合型部活動	
夜間			融合型部活動				
			↓			↓	
			総合体育館			学校開放施設	